

令和7年 6月23日

川崎市議会議長 原 典之 様

中原区在住者

ほか 86名

希少生物が生息する環境を守り、市民が誇れる緑豊かな等々力緑
地の整備を求める請願

請 願 の 主 旨

希少生物が生息する環境を守り、市民が誇れる緑豊かな等々力緑地の整備を進めてください。

請 願 の 内 容

等々力緑地は半世紀余りにわたって多くの市民が憩いの場として利用し、家族連れでのピクニックや散策、スポーツなどを楽しんできました。しかし、緑地の管理運営が民間の川崎とどろきパーク株式会社に移管され、緑地内に大規模な飲食・物販等の商業施設、スーパー銭湯などの計画や、2か所の立体駐車場の建設で子どもの遊び場が撤去され、催し物広場も移転させられようとしています。

これにより緑地内の多数の樹木が伐採されようとしています。また釣池周辺を始めとした希少な動植物が生息する環境が壊されるのではないかと危惧しています。

その後、事業者からの建設資材等の高騰と設計変更、及び市による新たな土壌汚染対策費などの追加試算によって、事業費が当初の約633億円から約1,232億円に膨張しようとしています。

この中で、今年の4月に事業者側から立体駐車場と自由提案施設の建設計画の見直しが表明されるなど、特段の状況変化が生まれています。

これらを前向きに進めるため改めて次の項目をお願いいたします。

請 願 項 目

- 1 現在の催し物広場の防災拠点としての機能と、等々力緑地が持つ役割をできるだけ維持してください。
- 2 樹木の伐採を必要最小限とし、希少生物が生息する環境を守ってください。
- 3 既存施設の有効活用により、適正な事業費としてください。

紹介議員

野 田 雅 之
宗 田 裕 之
三 浦 恵 美